

2010年12月(第95回)景気定点観測アンケート調査結果

調査期間:2010年12月2日～12月13日

調査対象:2010年度公益社団法人経済同友会幹事、経済情勢・政策委員会委員、その他委員会登録の

経営トップマネジメント(515名)および各地経済同友会代表幹事(71名)

計586名

集計回答数:228名(回答率=38.9%)〔製造業67名、非製造業161名〕

〔公益社団法人経済同友会会員178名、各地経済同友会代表幹事50名〕

*本調査は年4回(3月、6月、9月、12月)実施

【調査結果の概要】

I. 景気判断

(1)景気の現状について

「緩やかに拡大している」が減少(33.8%→11.9%)し、「横ばい状態が続いている」が増加(44.3%→66.8%)した。同友会景気判断指数(※)は-5.0と4期ぶりにマイナスとなった。

(2)今後の見通しについて

「横ばい状態が続いている」が減少(66.8%→52.4%)し、「緩やかに拡大している」が増加(11.9%→28.2%)した。

II. 企業業績、設備投資等

(1)売上高および経常利益

製造業の売上高は、2010年10-12月期見込みについて「増収」(57.1%)が「横ばい」(22.2%)を上回り経常利益も「増収」(44.4%)が「横ばい」(27.0%)を上回った。2011年1-3月期予想も同様。

非製造業の売上高は、2010年10-12月期見込みについて「増収」(39.5%)と「横ばい」(40.1%)がほぼ同じ割合となり、経常利益でも「増収」(43.1%)と「横ばい」(40.3%)は同程度となった。

(2)設備投資

前回に比べ、特に製造業において「増額」との回答が増加した(28.4%→40.0%)。

III. トピックス

今年の日本経済と今後の経済の見通しについて

今年、わが国経済および企業経営に大きな影響を与えた要因について、プラス要因として「各種促進事業の政策効果」(89.8%)、「新興国経済の好調」(74.7%)、「猛暑効果」(35.6%)の順となった。

マイナス要因として「日本経済のデフレの長期化」(72.1%)、「円高のマイナス効果」(71.7%)、「わが国における政権運営の不安定さ」(64.6%)の順となった。

来年以降のリスク要因としては

「わが国における政権運営の不安定さ」(70.5%)、「円高傾向の持続」(51.5%)、「海外への事業展開拡大に伴う国内事業再編の影響」(47.1%)の順となった。

環太平洋経済連携協定(TPP)について

・TPPの参加について「賛成」(=「賛成である」+「どちらかといえば賛成である」)との回答(88.0%)が「反対」(=「反対である」+「どちらかといえば反対である」)との回答(3.5%)を大幅に上回った。

・「賛成」回答者を対象にTPPについて「関係国との協議を開始する」という閣議決定に対する評価を聞いたところ、「評価しない」(=「評価しない」+「どちらかといえば評価しない」)との回答が66%を占めた。

・TPP参加の意見集約で重要となる点については「TPP参加によるわが国経済全体へのメリットの認識」(66.5%)が最多となった。

(※)同友会 景気判断指数:アンケートⅠ.(1)への回答について、「拡大している」を1、「緩やかに拡大している」を0.5、「横ばい状態が続いている」を0、「緩やかに後退している」を-0.5、「後退している」を-1として、それぞれの答えの比率を積算し合計したもの。

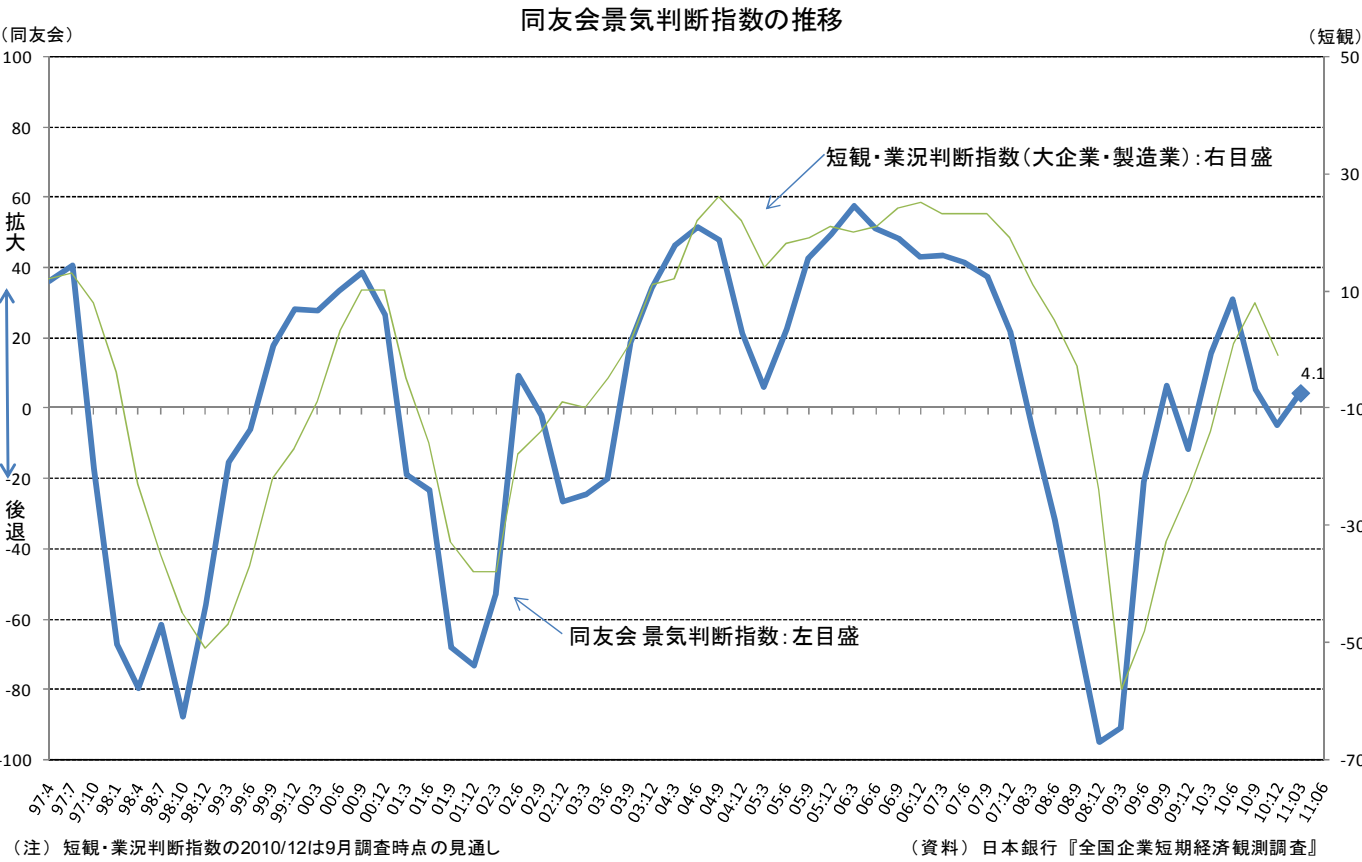
(「その他」は考慮せず)

I. 日本経済

1. 景気の現状と見通しについて

- (1) 景気の現状について、現在の我が国の景気動向をどのように判断されますか。
- (2) 2011年前半(2011年1月～2011年6月)の景気についてどのようにお考えですか。

図表1(1)



(注) 景気判断指数: アンケートの答えのうち、「拡大している」を1、「緩やかに拡大している」を0.5、「横ばい状態が続いている」を0、「緩やかに後退している」を-0.5、「後退している」を-1として、それぞれの答えの比率をかけ、合計したもの(「その他」は考慮せず)。

図表1(2)

全体: 現状(回答数226人) 見通し(回答数227人)								(回答比%)	
調査時点	2009/3	2009/6	2009/9	2009/12	2010/3	2010/6	2010/9	2010/12	今後の見通し
拡大している	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	2.0	0.4	0.4	0.4
緩やかに拡大している	0.9	12.0	28.8	21.2	39.6	62.3	33.8	11.9	28.2
横ばい状態が続いている	2.6	48.1	56.6	43.9	52.5	31.9	44.3	66.8	52.4
緩やかに後退している	7.0	21.0	13.2	23.1	6.5	3.4	18.6	19.0	17.2
後退している	88.2	16.7	1.5	11.3	0.9	0.5	3.0	1.8	1.8
その他	1.3	2.1	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
(景気判断指数)	-91.3	-21.2	6.3	-11.8	15.7	31.0	5.0	-5.0	4.1

図表1(3)

製造業:現状(回答数67人) 見通し(回答数67人) (回答比%)

調査時点	2009/3	2009/6	2009/9	2009/12	2010/3	2010/6	2010/9	2010/12	今後の見通し
拡大	0.0	8.9	23.5	25.4	38.2	66.7	34.3	11.9	26.9
横ばい状態	2.6	59.5	61.8	43.3	55.9	27.3	47.8	59.7	44.8
後退	94.9	31.6	14.7	31.3	4.4	6.1	17.9	28.4	28.4

非製造業:現状(回答数159人) 見通し(回答数160人) (回答比%)

調査時点	2009/3	2009/6	2009/9	2009/12	2010/3	2010/6	2010/9	2010/12	今後の見通し
拡大	1.3	13.6	31.4	20.0	40.3	63.0	34.1	12.6	29.4
横ばい状態	2.6	42.2	54.0	44.1	51.0	34.1	42.9	69.8	55.6
後退	95.4	40.9	14.6	35.9	8.7	2.9	22.9	17.6	15.0

公益社団法人 経済同友会:現状(回答数177人) 見通し(回答数177人) (回答比%)

調査時点	2009/3	2009/6	2009/9	2009/12	2010/3	2010/6	2010/9	2010/12	今後の見通し
拡大	1.1	13.2	30.5	24.4	40.7	67.1	37.6	14.1	31.6
横ばい状態	2.7	48.4	55.5	44.5	52.3	28.1	44.1	67.2	52.0
後退	94.5	36.8	14.0	31.1	6.4	4.8	18.3	18.6	16.4

各地経済同友会代表幹事:現状(回答数49人) 見通し(回答数50人) (回答比%)

調査時点	2009/3	2009/6	2009/9	2009/12	2010/3	2010/6	2010/9	2010/12	今後の見通し
拡大	0.0	7.8	22.0	12.5	35.6	51.4	21.6	6.1	18.0
横ばい状態	2.1	47.1	61.0	41.7	53.3	48.6	45.1	65.3	54.0
後退	97.9	41.2	17.1	45.8	11.1	0.0	33.3	28.6	28.0

※「拡大」は「拡大」、「緩やかに拡大」の合計。「後退」は「後退」、「緩やかに後退」の合計。

(3)2011年前半(2011年1月～2011年6月)の景気について、そのように判断する根拠をお選びください(2つまで)。

図表2

全体(回答数222人) (回答比%)

調査時点	2009/3	2009/6	2009/9	2009/12	2010/3	2010/6	2010/9	2010/12	
設備投資	増加	0.0	1.3	6.9	2.9	13.4	37.6	8.2	18.5
	減少	54.7	31.1	24.1	30.0	19.6	9.9	21.6	15.3
個人消費	増加	1.3	9.2	9.4	4.3	12.4	26.7	12.6	14.0
	減少	52.4	39.5	43.3	56.5	32.5	17.3	45.0	45.0
政府支出	増加	5.3	39.9	26.1	17.4	15.8	5.0	6.9	5.4
	減少	0.0	1.8	12.8	17.4	13.4	4.5	9.5	12.2
住宅投資	増加	0.0	0.4	1.0	0.5	1.9	2.5	1.7	1.8
	減少	4.0	4.8	3.9	4.3	3.3	1.5	2.2	2.7
輸出	増加	1.3	25.4	33.5	16.4	49.8	54.0	13.0	29.7
	減少	71.6	21.9	12.3	24.2	5.3	9.4	45.9	21.2
その他	4.9	7.5	8.9	11.1	6.7	10.4	12.1	11.3	

(4)対ドル円相場:2011年6月末値

図表3(1)

＜参考＞ 2010年12月1日 終値1ドル＝83円57銭
(回答比%)

全体(回答数226人)

	75円未満	75円～ 80円未満	80円～ 85円未満	85円～ 90円未満	90円～ 95円未満	95円～ 100円 未満	100円～ 105円 未満	105円 以上
今回	0.4	1.8	47.8	41.6	6.2	2.2	0.0	0.0
前回	0.0	5.1	30.2	46.0	17.4	1.3	0.0	0.0

(5)日経平均株価(225種):2011年6月末値

図表3(2)

＜参考＞ 2010年12月1日 終値9,988円05銭
(回答比%)

全体(回答数226人)

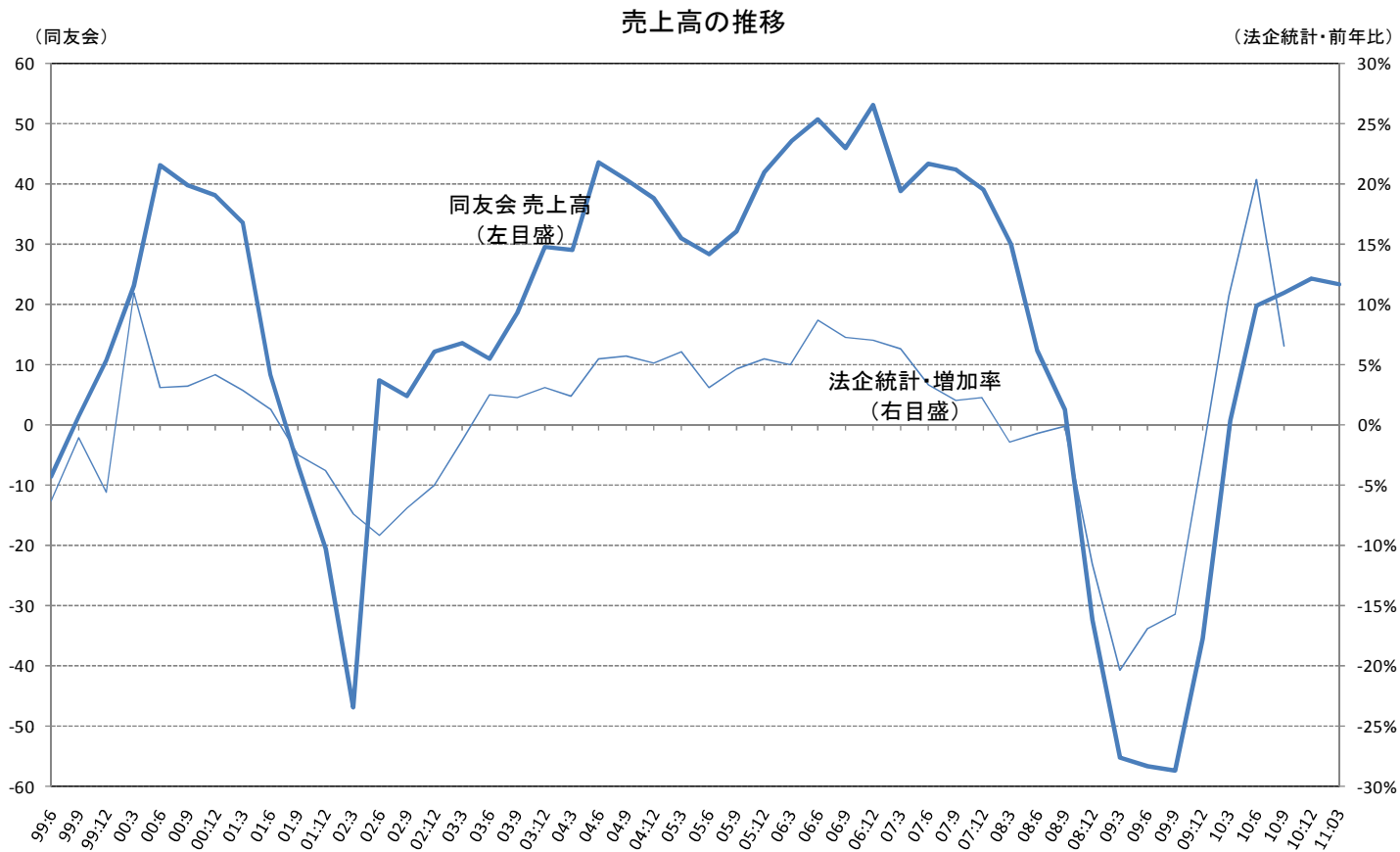
	5,000円 未満	5,000円 台	6,000円 台	7,000円 台	8,000円 台	9,000円 台	10,000円 台	11,000円 台	12,000円 台	13,000円 以上
今回	0.0	0.0	0.0	0.4	0.9	13.3	53.1	25.2	6.6	0.4
前回	0.0	0.0	0.0	0.9	13.6	55.7	27.7	1.7	0.4	0.0

Ⅱ. 企業業績、設備投資等

1. 貴社の業績についてお伺いします。下表から該当する番号をお選びください。

(1) 貴社の売上高

図表4(1)



(注) 同友会売上高: アンケートの今期売上高見込みの回答について、「増収」を1、「横ばい」を0、「減収」を-1として、それぞれの比率をかけ、合計したもの。なお、2011年3月の値は2010年12月調査時における予想。

図表4(2)

全体: 見込み(回答数210人) 予想(回答数210人) (回答比%)

見込み 予想

	2009/ 1-3	2009/ 4-6	2009/ 7-9	2009/ 10-12	2010/ 1-3	2010/ 4-6	2010/ 7-9	2010/ 10-12	2011/ 1-3
増 収	12.0	7.6	9.0	15.5	37.5	43.7	41.2	44.8	43.3
横ばい	20.7	28.1	24.5	33.5	25.5	32.2	39.4	34.8	36.7
減 収	67.3	64.3	66.5	51.0	37.0	24.0	19.5	20.5	20.0

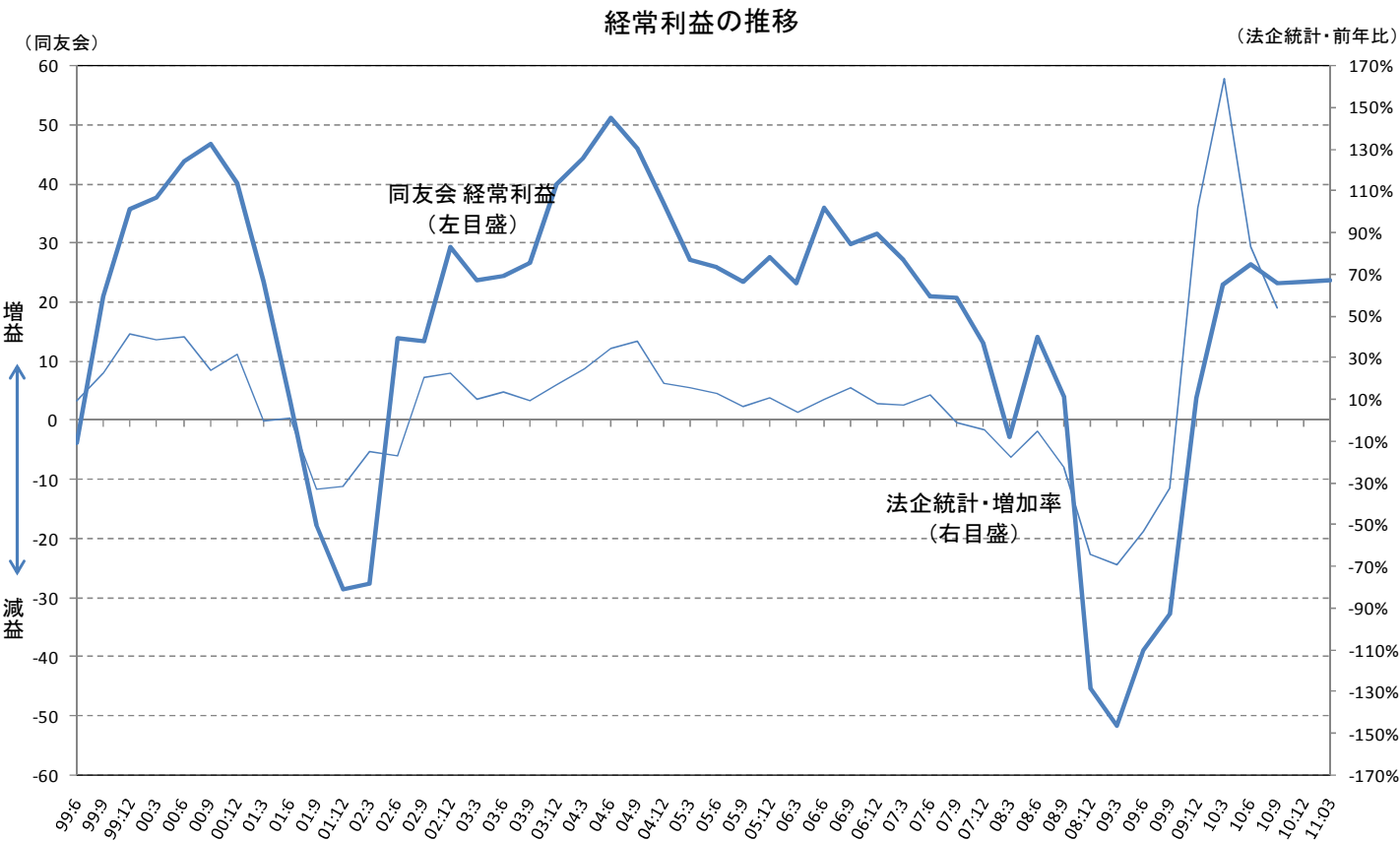
製造業: 見込み(回答数63人) 予想(回答数63人) (回答比%)

	2009/ 1-3	2009/ 4-6	2009/ 7-9	2009/ 10-12	2010/ 1-3	2010/ 4-6	2010/ 7-9	2010/ 10-12	2011/ 1-3
増 収	7.8	4.0	4.6	17.2	63.1	65.0	62.5	57.1	58.7
横ばい	14.3	22.7	16.9	35.9	16.9	16.7	28.1	22.2	20.6
減 収	77.9	73.3	78.5	46.9	20.0	18.3	9.4	20.6	20.6

非製造業: 見込み(回答数147人) 予想(回答数147人) (回答比%)

	2009/ 1-3	2009/ 4-6	2009/ 7-9	2009/ 10-12	2010/ 1-3	2010/ 4-6	2010/ 7-9	2010/ 10-12	2011/ 1-3
増 収	14.3	9.6	11.4	14.6	25.2	33.3	32.5	39.5	36.7
横ばい	24.3	31.1	28.5	32.3	29.6	39.8	43.9	40.1	43.5
減 収	61.4	59.3	60.2	53.1	45.2	26.8	23.6	20.4	19.7

(2)貴社の経常利益
図表5(1)



(注) 同友会経常利益: アンケートの今期経常利益見込みの回答について、「増益」を1、「横ばい」を0、「減益」を-1として、それぞれの比率をかけ、合計したもの。なお、2011年3月の値は2010年12月調査時における予想。

図表5(2)

全体: 見込み(回答数207人) 予想(回答数207人) (回答比%)

見込み 予想

	2009/ 1-3	2009/ 4-6	2009/ 7-9	2009/ 10-12	2010/ 1-3	2010/ 4-6	2010/ 7-9	2010/ 10-12	2011/ 1-3
増 収	15.0	16.7	18.8	36.9	46.9	45.1	46.2	43.5	42.0
横ばい	18.3	27.6	29.6	29.9	29.2	36.0	30.7	36.2	39.6
減 収	66.7	55.7	51.6	33.2	24.0	18.9	23.1	20.3	18.4

製造業: 見込み(回答数63人) 予想(回答数63人) (回答比%)

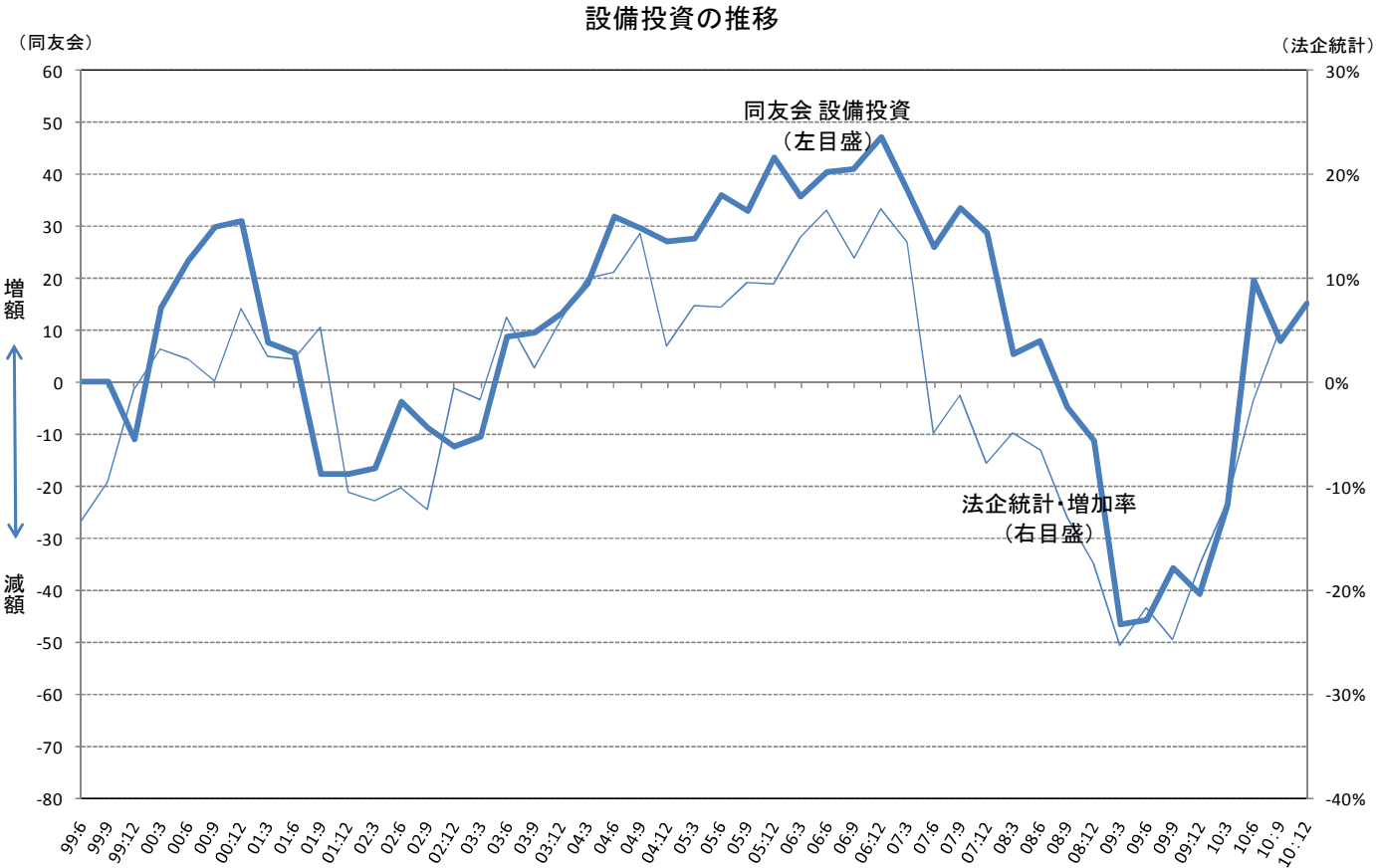
	2009/ 1-3	2009/ 4-6	2009/ 7-9	2009/ 10-12	2010/ 1-3	2010/ 4-6	2010/ 7-9	2010/ 10-12	2011/ 1-3
増 収	12.0	14.7	9.4	54.8	66.7	63.3	60.3	44.4	47.6
横ばい	13.3	17.3	21.9	19.4	23.8	20.0	19.0	27.0	27.0
減 収	74.7	68.0	68.8	25.8	9.5	16.7	20.6	28.6	25.4

非製造業: 見込み(回答数144人) 予想(回答数144人) (回答比%)

	2009/ 1-3	2009/ 4-6	2009/ 7-9	2009/ 10-12	2010/ 1-3	2010/ 4-6	2010/ 7-9	2010/ 10-12	2011/ 1-3
増 収	16.7	17.8	23.8	28.0	37.2	35.7	40.3	43.1	39.6
横ばい	21.0	33.3	33.6	35.2	31.8	44.3	35.6	40.3	45.1
減 収	62.3	48.9	42.6	36.8	31.0	20.0	24.2	16.7	15.3

2. 貴社の設備投資(2010年度)についてお伺いします。
(1) 国内の設備投資額(2010年度)は2009年度比でどのようになる予定でしょうか。

図表6(1)



(注) 同友会設備投資：アンケートの回答について、「増額」を1、「2009年度並み」を0、「減額」を－1として、それぞれの比率をかけ、合計したもの。

図表6(2) (回答比%)

調査時点		2009/3	2009/6	2009/9	2009/12	2010/3	2010/6	2010/9	2010/12
全体 (回答数213人)	増 額	11.1	12.2	15.5	11.9	18.1	37.8	29.9	35.2
	2009年度並み*	31.3	29.9	33.2	35.3	40.2	44.0	48.2	44.6
	減 額	57.7	57.9	51.3	52.7	41.7	18.1	21.9	20.2
製造業 (回答数65人)	増 額	8.1	12.7	11.8	10.4	14.9	48.5	28.4	40.0
	2009年度並み*	17.6	21.5	26.5	35.8	37.3	33.3	44.8	43.1
	減 額	74.3	65.8	61.8	53.7	47.8	18.2	26.9	16.9
非製造業 (回答数148人)	増 額	12.7	12.0	17.6	12.7	19.7	32.3	30.6	33.1
	2009年度並み*	38.8	34.5	36.8	35.1	41.6	49.6	49.7	45.3
	減 額	48.5	53.5	45.6	52.2	38.7	18.1	19.7	21.6

*注) 2009年調査時は2008年度並み

(2) 増額される設備投資／(3) 減額される設備投資の主な内容をお選びください。(複数回答可)

図表6(3) ○増額設備投資 (回答比%)

回答数		能力増強投資	新規事業投資	合理化・省力化投資	環境対策投資	維持・補修・更新等の投資	その他
製造業	(65)	32.3	16.9	26.2	6.2	15.4	7.7
非製造業	(148)	20.9	21.6	21.6	8.1	22.3	4.1

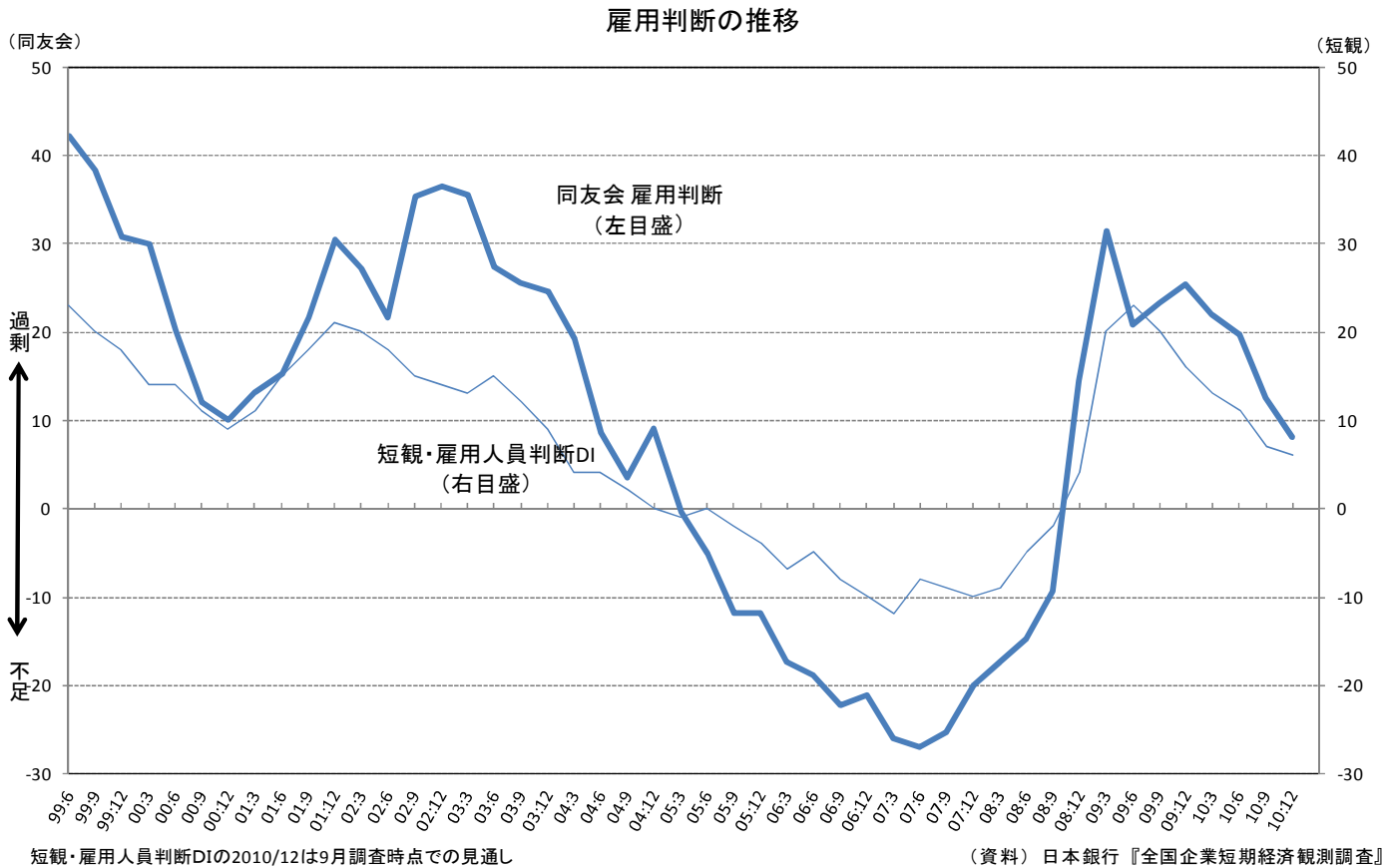
●減額設備投資

製造業	(65)	16.9	6.2	6.2	3.1	23.1	6.2
非製造業	(148)	14.2	12.8	7.4	0.7	12.8	3.4

3. 貴社の雇用の状況についてお伺いします。現状の雇用人員をどのようにお考えでしょうか。

(1)全体として、雇用人員は

図表7(1)



(注) 同友会雇用判断: アンケートの回答について、「过剩」を1、「適正」を0、「不足」を-1として、それぞれの比率をかけ、合計したもの。

図表7(2)

(回答比%)

調査時点		2009/3	2009/6	2009/9	2009/12	2010/3	2010/6	2010/9	2010/12
全体 (回答数220人)	过剩である	37.2	30.7	30.2	32.2	29.0	26.6	22.9	19.5
	適正である	57.1	59.6	62.8	61.0	63.8	66.3	66.7	69.1
	不足している	5.8	9.8	7.0	6.8	7.1	7.0	10.4	11.4
製造業 (回答数66人)	过剩である	62.8	51.9	47.1	43.3	38.2	37.9	35.8	30.3
	適正である	34.6	38.0	48.5	50.7	54.4	57.6	53.7	66.7
	不足している	2.6	10.1	4.4	6.0	7.4	4.5	10.4	3.0
非製造業 (回答数154人)	过剩である	23.6	19.2	21.4	26.8	24.6	21.1	17.7	14.9
	適正である	68.9	71.2	70.2	65.9	68.3	70.7	72.0	70.1
	不足している	7.4	9.6	8.4	7.2	7.0	8.3	10.4	14.9

(2)过剩感のある雇用人員／(3)不足感のある雇用人員の主な内容をお選びください。(それぞれ2つまで)

図表7(3)

○过剩人員

(回答比%)

回答数		経営・ 管理職	一般社員 、工員等	技術者・ 専門 技能者	営業専門職 (歩合、請負等)	アシスタント (派遣、パート、 アルバイト等)	その他
製造業	(66)	22.7	19.7	3.0	3.0	12.1	6.1
非製造業	(154)	11.7	14.9	3.2	1.9	11.7	5.8

●不足人員

製造業	(66)	4.5	4.5	25.8	1.5	1.5	7.6
非製造業	(154)	7.8	6.5	18.8	13.6	5.2	3.9

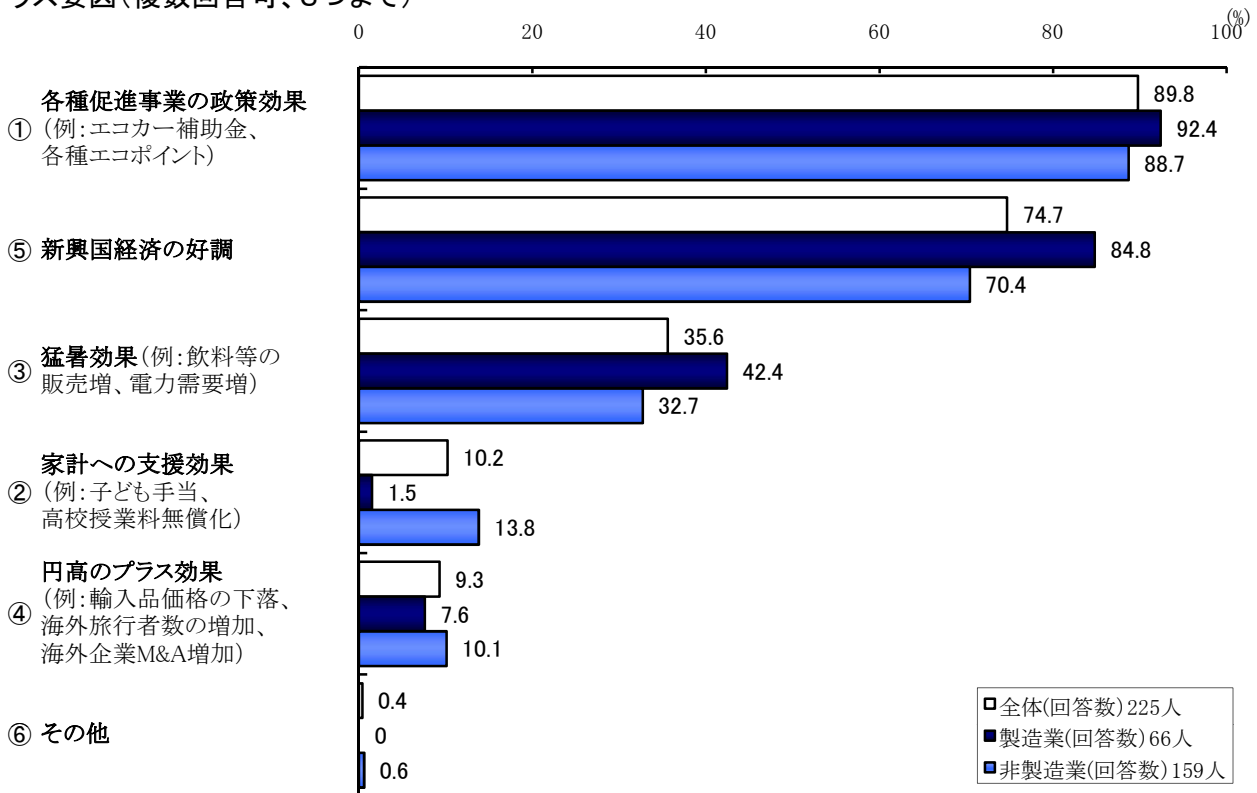
Ⅲ. トピックス

1. 今年の日本経済と今後の見通しについて

今年、わが国経済および企業経営に大きな影響を与えたと思われる要因について、お考えに近いものをお選び下さい。

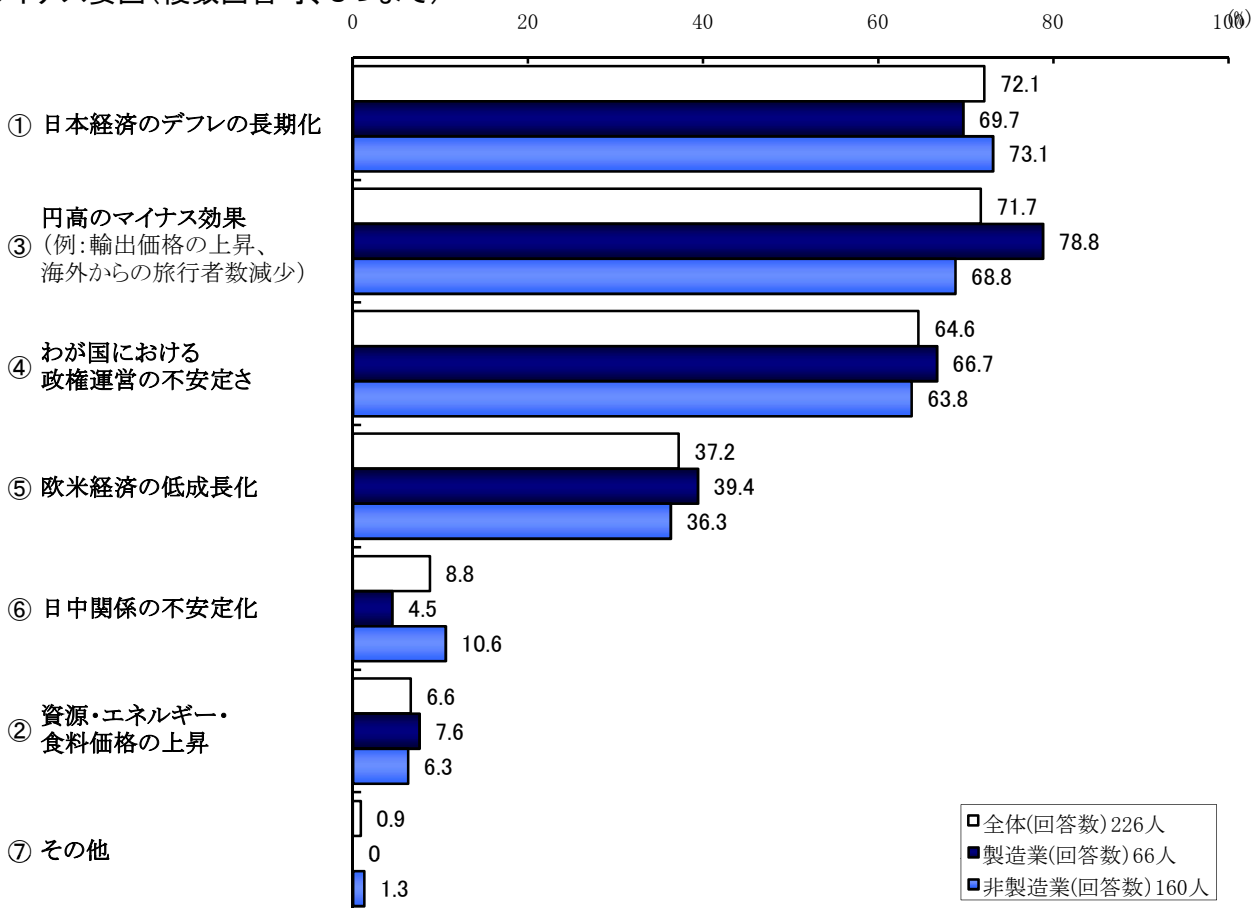
(1) プラス要因(複数回答可、3つまで)

図表8



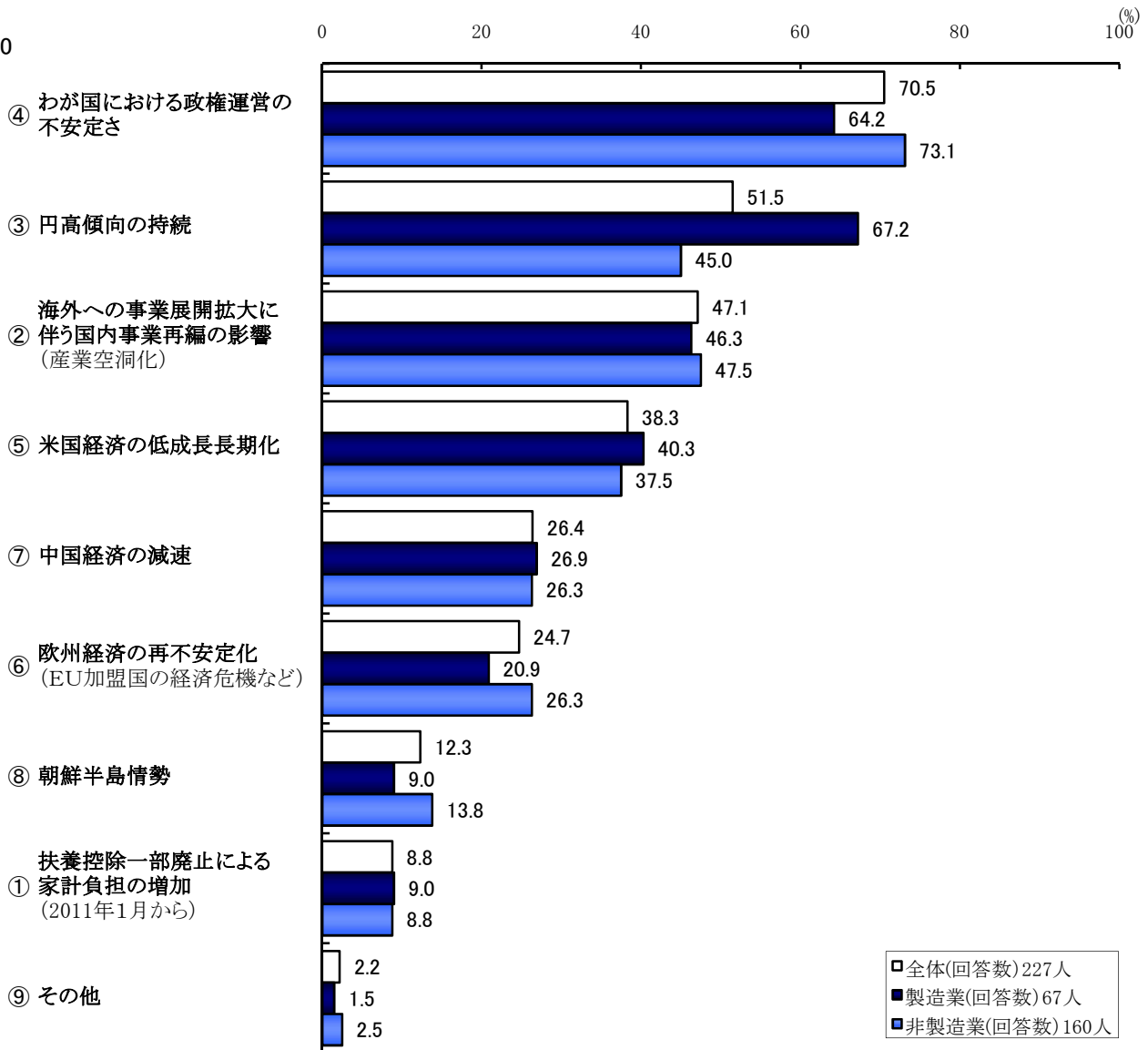
(2) マイナス要因(複数回答可、3つまで)

図表9



(3) 2011年以降のわが国経済のリスク要因について、お考えに近いものをお選び下さい。(複数回答可、3つまで)
(複数回答可、3つまで)

図表10



(4) 2011年度、2012年度の日本の実質GDP成長率

図表11 全体

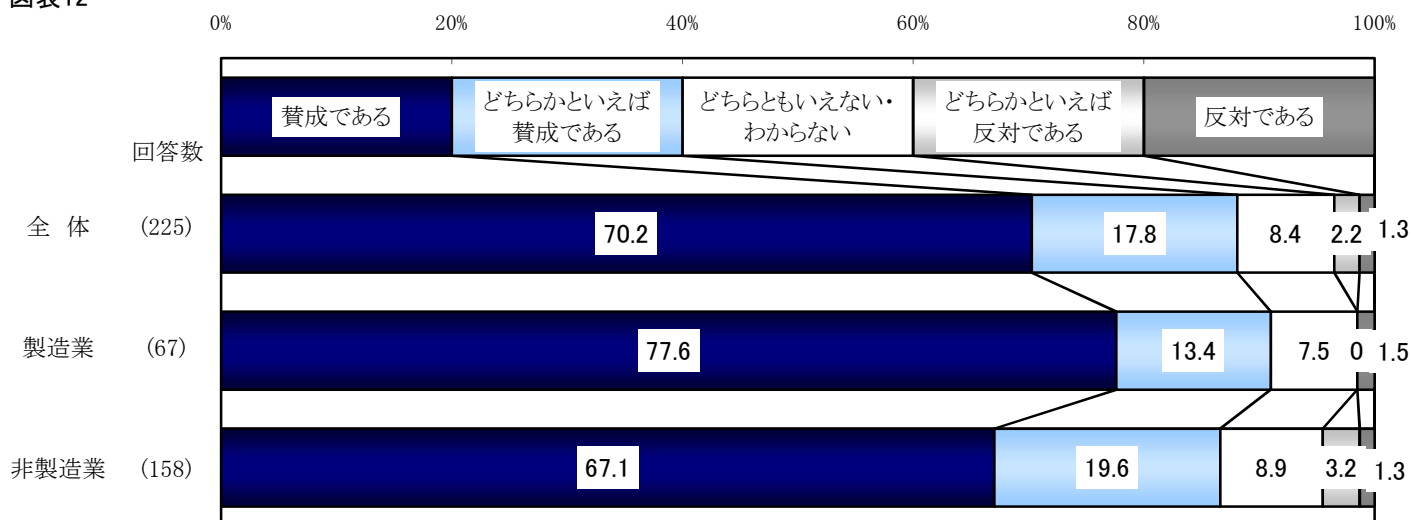
	2010年度	2011年度	2012年度	
2010年6月調査時	1.95 (2.0)	1.78 (1.8)	*	(%)
2010年12月調査時	*	1.46 (1.5)	1.88 (2.0)	

注):()内は中央値。*は調査なし。

2. 環太平洋経済連携協定(TPP)について

(1)わが国のTPP参加について、お考えに近いものをお選び下さい。

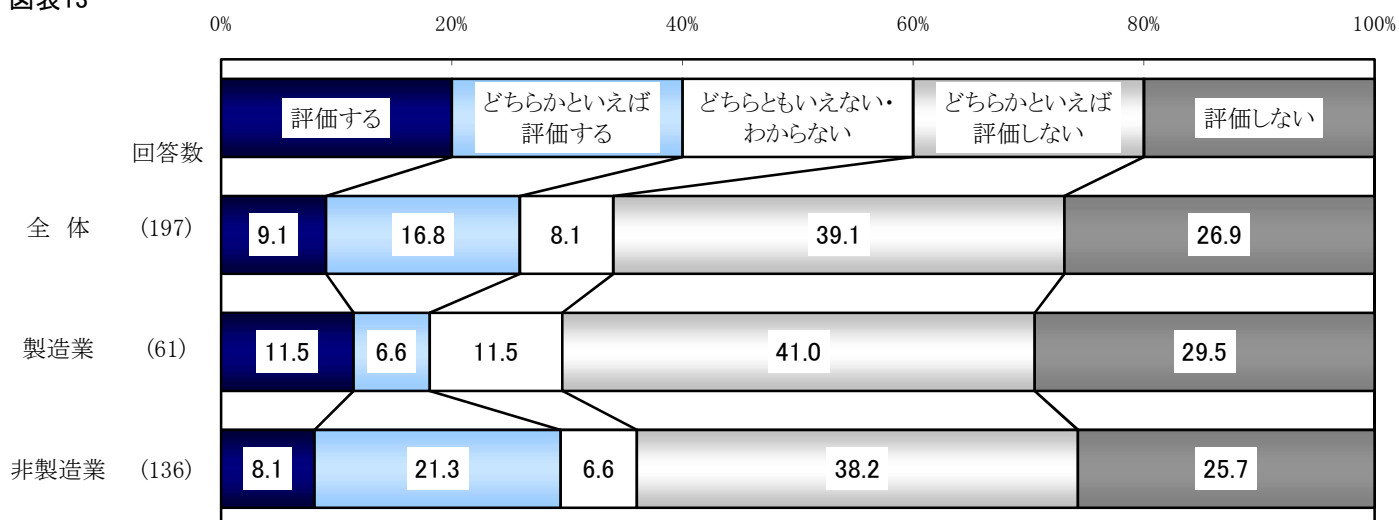
図表12



(2)前問(1)で「①賛成である」「②どちらかといえば賛成である」とお答えされた方に伺います。

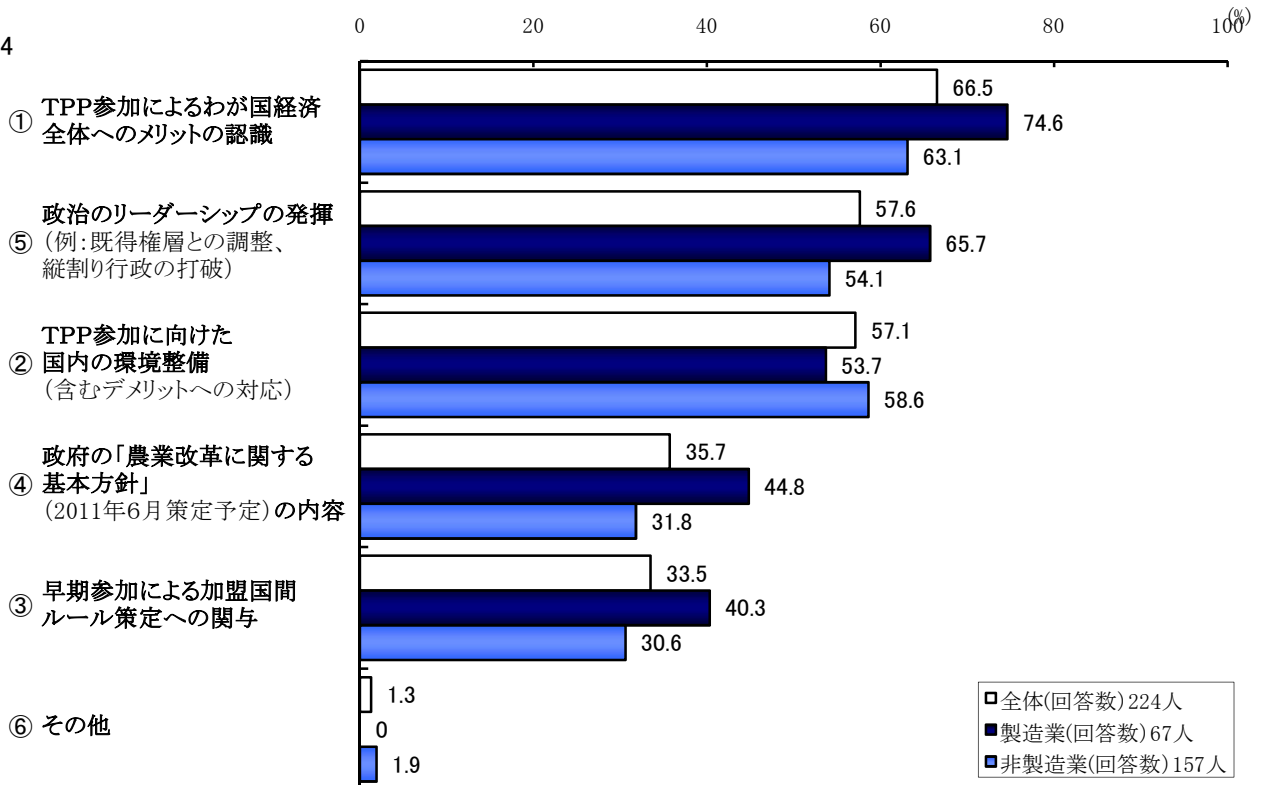
2010年11月9日の閣議決定で、わが国でもTPPについて「関係国との協議を開始する」との基本方針を発表しましたが、参加についての判断は今後に先送りされました。これについてどのように思われますか。お考えに近いものをお選び下さい。

図表13



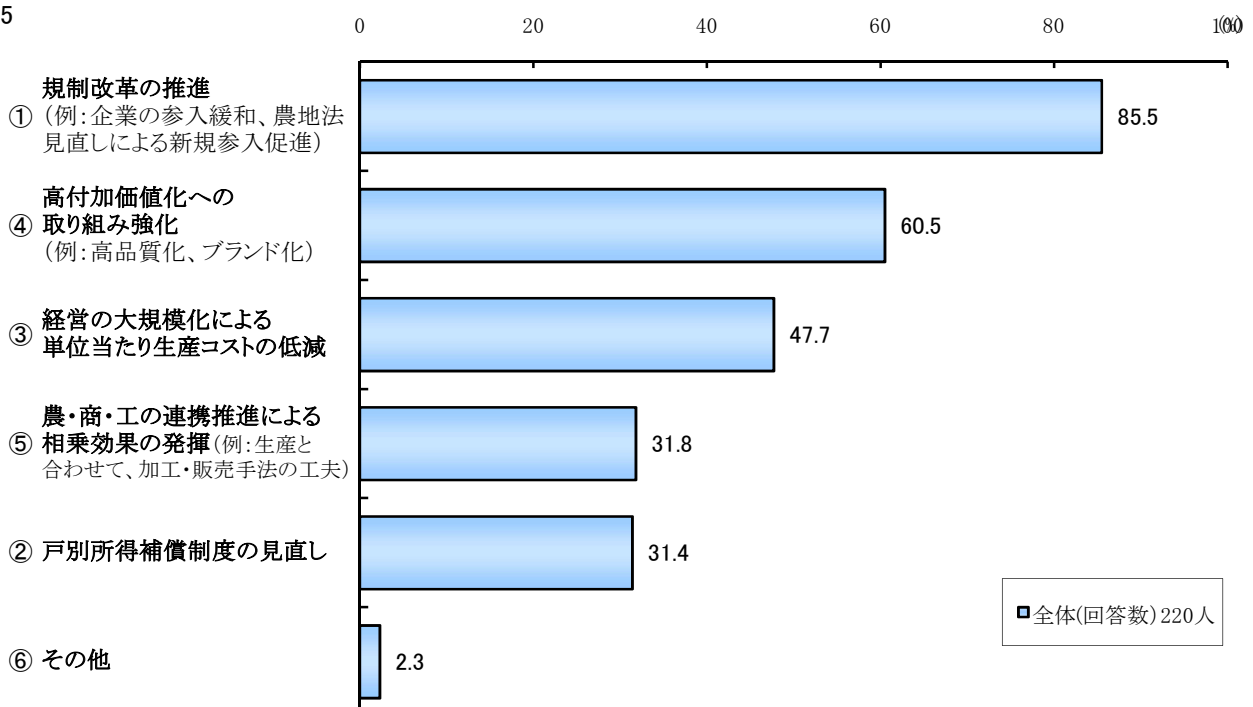
(3)わが国のTPP参加は自由貿易の利益を享受するために不可欠との意見がある反面、国内産業への影響から慎重論も根強く、今後の意見集約に注目が集まっております。その際に重要になると思われる点について、お考えに近いものをお選び下さい。(複数回答可)

図表14



(4)わが国農業の競争力強化に向けた対応として、お考えに近いものをお選び下さい。(複数回答可、3つまで)

図表15
全体



－回答者業種分類－

製造業		67人
	食 品	9
	繊維・紙	4
	化学製品	18
	鉄鋼・金属製品	5
	機械・精密機器	8
	電気機器	16
	輸送用機器	4
	その他製品・製造	3
非製造業		161人
	建 設	9
	商 業	23
	銀 行	18
	その他金融	10
	証 券	6
	保 険	10
	不動産	7
	運輸・倉庫	16
	情報・通信	16
	電力・ガス	2
	サービス(コンサルティング、研究所)	15
	サービス(法律・会計・教育・医療など)	7
	サービス(ホテル業、エンターテインメント)	3
	サービス(広告)	2
	サービス(その他)	12
	その他	5
回答者総数		228人

－回答者ブロック別分類－

公益社団法人 経済同友会		178人
各地経済同友会代表幹事計		50人
	北海道・東北	10
	関 東	5
	中部・北陸	5
	近 畿	8
	中国・四国	14
	九州・沖縄	8
回答者総数		228人